

経理担当役員メッセージ



フリーキャッシュフローの創出による 持続的な成長・発展を支える財務戦略の実践

第8次中期経営計画2年目の2018年度は、収益力の強化と資本コストを重視した投資戦略の実行によりフリーキャッシュフローの創出を図り、持続的な成長・発展を支える財務戦略を実践してまいります。

上席執行役員 **石井 治**

第8次中期経営計画の2年目である2018年度は、重点施策として取り組んでいる、キャッシュフロー経営と財務体質の健全化、及び連結経営の推進（関係会社政策の強化）の達成のために、資本コストを意識した投資基準の設定及び運用強化、CCC (Cash Conversion Cycle) の改善による運転資金の効率運用を図り、目標である総資産回転率1回転以上の実現のために各施策を実行しております。また、2019年度のROE8%の達成のために、引き続き収益力の強化と資産効率の向上によるフリーキャッシュフローの創出により、持続的な成長・発展を支える財務戦略を実践してまいります。

財務基盤強化のために、営業キャッシュフローの増大に重点を置き、創出したフリーキャッシュフローは成長分野への投資、株主還元、有利子負債の圧縮へ配分することを主眼としております。

当社の加重平均資本コスト (WACC) は概ね5%と認識しており、投資決定には、資本コストを上回る効果があるかを判断基準としております。また、実施後も案件別にモニタリングし、投資効果を検証、評価することで投資効率の向上を図っております。

2017年度末の有利子負債は前年度の350億円から337億円と12億円削減いたしました。2018年度は旺盛な需要への対応として設備投資や運転資金が一時的に増加する予定ですが、今後につきましては、D/Eレシオを0.9以内に収めることを念頭に財務レバレッジの効率化を進めてまいります。

また、自己資本につきましては、財務体質面と負債とのバランスの観点から、今後も継続してフリーキャッシュフローの創出による有利子負債の圧縮と、今後の成長に繋がる投資を実施しながら収益力を高め、自己資本比率目標の50%の早期回復に向けて資本の増強を図ってまいります。

本年度は、香港の子会社における中国統括機能を強化し、域内における資金効率、資産効率の向上とガバナンス強化による経営効率の向上を図ってまいります。今後におきましても各地域において経営資源の効率運用を追求し、経営効率の向上をさらに進めてまいります。

当社は、事業構造の改革を進めながら、成長分野への投資を積極的に行うと共に、引き続き資本と負債のバランスを考慮しつつ安定配当の継続等の株主還元を通して、長期的に株主価値を高めてまいります。